

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	ごみ分別辞典作成事業					
事業の概要	平成18年3月1日より 加悦町、岩滝町、野田川町の3町が合併し与謝野町として発足することに伴い、ごみの収集分別方法も統一することとなった。そこで、与謝野町での収集分別方法を記載した冊子を作成し、全世帯に配布することで合併後の円滑なごみ処理が行えるよう 町民に周知徹底するものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	726	本年度事業費	726	交付金交付額	363
事業の必要性	合併前の3町においては、ごみの分別収集方法はそれぞれに異なっており、新町ではそれらを統一することとなった。合併前と異なる部分も多く混乱が予想され、これを回避するため、合併前に冊子を配布し町民に周知徹底を図る必要がある。					
事業の有効性	合併前にごみの分別収集方法について周知徹底することで、合併後速やかに、新町の体制に対応することができ、ごみの減量化や適正処理に寄与する。					
事業の効率性						
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果					
	3 リーディング・モデル成果					
	4 広域的波及成果 循環型社会の構築は現代に生活する者に突きつけられた必須命題であり、そのためには住民一人ひとりの意識の変革が鍵となる。ごみ分別は最も身近で実践できる自然保護行動であり、その徹底により、自然環境を保護し将来の資源枯渇を防ぐ一助となるものである。					
	5 行財政改革に資する成果 ごみの分別収集方法を各戸配布により提示し分別収集への理解を深めることで、分別間違いや問い合わせ等の負担を軽減することができる。					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。